

授業科目名	フロントエンド開発Ⅱ			年 次	2 年						
担当教員名	有田 雅浩			学 科	Web クリエイター科						
授業の方法	実習			開講年度・学期	2025 年度・通年						
実務経験の有無	有	実務経験	2	年間授業時数	76 時間	科目区分 必須					
授業の概要 (実務経験を活かした教育内容)	モダンなフロントエンド開発環境に触れる一環として、エンジニアから多くの支持を集める JS ライブラリの「React」を用いた Web アプリケーション開発を学習します。また、実務では欠かせないバージョン管理システムを習得・活用できるように常に利用します。なお、希望者には習得した技術を応用したより高度なアプリケーション開発についても学習します。										
授業の到達目標	1. React を用いた Web アプリケーション開発を行うことができる。 2. Git などのバージョン管理システムを用いたチーム開発を行うことができる。										
授業計画	月	内容									
	4	・オリエンテーション　・JavaScript 基礎									
	5	・Linux コマンド　・Git 基礎　・Git ホスティングサービス活用									
	6	・React 基礎　・様々な開発手法の実践									
	7	・React 基礎　・機能テスト									
	8	—									
	9	・React 基礎 ・前期末試験実施									
	10	・React 応用　・フレームワークの活用 ・非機能的要件(検索エンジン最適化、アクセシビリティ)									
	11	・アプリケーション作成 (Electron、サーバ構築)									
	12	・個人開発(スキル向上)									
	1	・個人開発(スキル向上) ・卒業試験実施									
	2	—									
	3	—									
成績評価の方法	前期(9月)と後期(1月)の定期試験および受講状況を以て評価する。 成績評価基準:優(100~90)・良(89~70)・可(69~40)・不可(39~0)										
準備学習・事後学習等	JavaScript の基本文法について復習しておくこと。 課題を出す場合があるが、内容や提出方法などの疑問点はすぐに質問し解決すること。										
テキスト	—										
参考書・参考資料等	—										
その他 (学生に対する要望、メッセージ)	1 年時に学んだ内容をベースに、React を用いたモダンなフロントエンド開発を学んでいきます。黙々と知識のインプットを行う場面もありますが、全体を通して手を動かし何かモノを作り上げることを念頭に進めていきます。プログラムを書き、動作させる楽しさ、難しさなど様々な事柄を伝えていきたいと考えております。1 年間、どうぞ最後までお付き合いください。										